

FRESHERS 新入職員紹介



今年、宇城市役所職員として仲間入りした10人の新入職員。これから多くの知識と経験を積み重ねながら、市の発展のために尽力していきます。



久保 舞
Kubo Mai

市民課

生まれ育った宇城市で働けることをうれしく思います。皆さまの役に立てるよう頑張ります。



藤本 大介
Fujimoto Daisuke

防災消防課

人との出会いを大切に、誠実に対応していきたいと思ひます。



田上 賢輝
Tanoue Yoshiki

スポーツ振興課

スポーツが盛んな宇城市のために、精一杯頑張ります。



大塚 脩平
Otsuka Shuhei

文化課

皆さんに信頼していただける職員を目指し、一日でも早く顔を覚えてもらえるよう頑張ります。



橋口 敬紀
Hashiguchi Yukinori

税務課

一日でも早く宇城市のために役立つよう頑張ります。宇城市を好きな思ひは誰にも負けません。



伊勢崎 友絵
Isezaki Tomoe

市民課

スポーツ経験を生かして、元気いっぱい笑顔で頑張りたいと思ひます。



田口 拓実
Taguchi Takumi

上下水道課

一日でも早く皆さんの力になれるように一生懸命頑張ります。



山田 虹歩
Yamada Nijiho

公共施設マネジメント課

熊本市出身で、大学ではよさこいをしていました。市民の方々の役に立てるよう頑張ります。



松岡 舞美
Matsuoka Maimi

社会福祉課

日々精進してまいります。どうぞ末永くよろしくお祈りします。



下谷 奈緒
Shimoya Nao

健康づくり推進課

相手の立場に立って、行動することを心掛けています。

「防災・減災フェスタ」

災害を忘れない、災害を語り継ぐ

4/13 豊野公民館で防災・減災フェスタが開催されました。熊本地震時にボランティアで訪れた仲間が再集結し、住民参加型のイベントにしたいと復興ライブや炊き出しが行われました。東日本大震災でもボランティア経験のある主催の糸山公照さん(42)＝豊野町＝は、「炊き出しで200食作るの難しい。得た知識を次につなげられるよう、新たな災害に備え、忘れず、語り続けるという忘災・言災の思ひを形にしたい」と話していました。



タオル地の防災頭巾は「汗っかきにも使えて一石二鳥」

かんたん窓口システム導入

県内初！タブレットで申請書記入が不要に

4/15 タブレット端末を使った申請書発行が本庁市民課窓口で始まりました。自治体での導入は県内初です。マイナンバーカードをカードリーダーに置いてタブレット画面を操作すると、住民票などの発行手続きを行うことができます。発行できるのは戸籍謄・抄本や印鑑証明など全部で6種類。申請書記入が不要で、窓口での待ち時間も短縮されます。また、手数料も通常より150円安く、コンビニ端末での交付と同額で取得できます。



守田市長も操作を体験

操作も簡単で便利

地域の行事や隠れた魅力などをレポート 広報特派員レポート

宮川勝 特派員 編



本村雨乞い太鼓

開通記念のお餅をたくさんついて、戸馳島の皆さんに配り、大変喜んでいただきました。

— 戸馳大橋開通 —
開通式と同時に「戸馳大橋わたろう会」のイベントもスタート。

旧戸馳小を会場に、伝統を受け継ぐ本村雨乞い太鼓と内瀧龍神太鼓が共演しました。テープカットにはくまモンも特別参加。約200人の宇土・宇城フラダンス愛好会の皆さんが開通に華を添え、記憶に残る素晴らしい1日となりました。



宇土・宇城フラダンス愛好会

テープカット



内瀧龍神太鼓



内瀧龍神太鼓踊り